

平成21年度 財団法人静岡県文化財団事業計画の追加

1 事業計画の追加の理由

静岡県文化財団は、本県の文化振興を図るため、文化鑑賞機会提供事業を県内各地で開催している。

国（文化庁）の地域文化芸術振興プランを受け、文化鑑賞機会提供事業の一つとして、今年度新たに、文化施設・市町教育委員会と協働し、子どもを中心に家族で楽しめる芸術鑑賞・体験の機会を提供するとともに、郷土の先人を紹介する展覧会を静岡市内で開催するため事業計画を追加する。

これにより、子どもに上質な芸術文化に触れるきっかけを提供するとともに地域文化の拠点としての文化施設の交流を促進し、静岡県の文化振興の一助とする。

2 事業概要

(1) 文化鑑賞機会の提供事業

追加事業費：60,100千円

①静岡のこどもたち文化芸術鑑賞・体験事業

県内の文化施設と協働で、子どもを中心に家族で楽しめる、そして上質な芸術鑑賞等を提供する。

ア出前鑑賞・体験プラン

静岡音楽館AOI芸術監督野平一郎氏、静岡県舞台芸術センター総監督宮城聡氏、能楽大倉流小鼓方宗家大倉源次郎氏の協力を得て、中山間地域を視野に入れながら、小・中学生及びその保護者を対象に県内各地の文化ホール等で音楽、演劇、能楽の公演・ワークショップを実施する。参加料は無料。実施時期は平成21年11月から22年3月。

《県内各地公演等》

ジャンル	公演・ワークショップ回数	1回当たりの鑑賞者数
音楽	2プログラム×3公演=6公演	700人程度/公演
演劇	1演目×4公演	200～400人程度/公演
能楽	1プログラム×6ワークショップ	50～80人程度/ワークショップ

《招待公演》

ジャンル	場所・公演回数
演劇	静岡芸術劇場 7公演

イ親子招待プラン

県内の親子（子は高校生以下）を対象に県内の公立文化施設で開催される公演に招待をする。招待者は自己負担あり。実施時期は平成21年10月から22年3月。

対象館・公演数	招待組数
13館23公演	親子25組招待

②展示事業

幕末の江戸無血開城に尽力した「山岡鉄舟」と静岡県とのかかわりを県民に紹介し、郷土の先人を知る機会を提供するとともに、子どもたちの郷土愛を育む。

内容	・全生庵(東京)、鉄舟寺の所蔵の鉄舟関連の作品を中心とした展示会 ・鉄舟関連の講談等のイベント
開催時期	平成22年3月
開催場所	展示：駿府博物館（静岡市葵区） イベント：駿府博物館・グランシップ